

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170200390		
法人名	医療法人なごみ会		
事業所名	酒井医院グループホームなごやか		
所在地	佐賀県唐津市鎮西町名護屋4198番地		
自己評価作成日	平成25年9月26日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成25年11月13日	外部評価確定日	平成25年12月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>「受容、共感、高め合い」「敬愛の心を持って笑顔を引き出します」「地元とふれあい貢献します」「花鳥風月を感じながら心穏やかに入居者様主体かつお一人お一人の存在が活かされ安心できる所です」という介護理念を掲げ、その人らしく楽しんで生活していただくため、食事、入浴、排泄のお手伝いをはじめ、散歩やドライブ、買い物のお手伝い、美容室の送迎等、できる限りお一人お一人の希望に沿ったサービスを提供させていただいています。また、病院の送迎や付き添い、リハビリのお手伝い等、心と体の状態に合ったサービスを心がけ、協力医療機関からの往診や、理学療法士や作業療法士によるリハビリの援助も行っています。短期間(ショートステイ)のご利用も可能です。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>名護屋城跡の下に位置し、春には居乍らにして桜が眺められ、入居者の楽しみとなっている。道路脇ではあるが車の騒音は殆どない。職員は入居者を人生の先輩として敬い、会話から学びがあるという姿勢で接している。職員は互いを信頼しており、それが日々のケアでは良いチームワークとなって表れている。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価/ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価/ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	新規採用時に法人理念およびホーム理念を管理者より説明すると共に暗誦することを新人研修に入れて共有している。玄関や事務所等複数個所に掲示し、職員は日常的に確認できるようになっており、業務中、必要時管理者と職員は確認の時間を確保して実践に繋げている。	新規採用時に法人理念およびホーム理念を管理者より説明すると共に暗誦することを新人研修に入れて共有している。玄関や事務所等複数個所に掲示し、職員は日常的に確認できるようになっており、業務中、必要時管理者と職員は確認の時間を確保して実践に繋げている。	理念は、開所時に職員全員で創りあげたものである。9年目を迎え、職員の変動はあるものの、受容共感の意識は変わらず、全職員に浸透している。職員会議での唱和や所内各所への掲示で意識付けを行っており、入居者と穏やかに接するケアの中にそれが活かされている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	スーパー、薬局、医院、美容室やゲートボール場、小学校等事業所より数分のところにあり子ども110番指定事業所として指定を受ける等日常的に交流している。介護支援ボランティアの登録もあり交流がより深まっている。	スーパー、薬局、医院、美容室やゲートボール場、小学校等事業所より数分のところにあり子ども110番指定事業所として指定を受ける等日常的に交流している。介護支援ボランティアの登録もあり交流がより深まっている。	自治会に加入しており、地区の行事等あれば積極的に参加している。近隣住民とも顔見知りであり、散歩に出れば挨拶を交わしたり、話をしたりしている。庭の手入れにボランティアで寄ってくれる住民もあり、ふれあう機会が多い。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	デイサービスや居宅支援事業所を併設し認知症の方を受け入れると共に相談等日常的に対応している。	デイサービスや居宅支援事業所を併設し認知症の方を受け入れると共に相談等日常的に対応している。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	H18年より1回/月の実績があり、介護保険の動向や入居者様の日常の様子等幅広く議題に取り入れると共に地域の民生委員の方に多く参加していただき、なごやかな雰囲気の中、よりよいサービスに繋がる意見が引き出せるように工夫している。	H18年より1回/月の実績があり、介護保険の動向や入居者様の日常の様子等幅広く議題に取り入れると共に地域の民生委員の方に多く参加していただき、なごやかな雰囲気の中、よりよいサービスに繋がる意見が引き出せるように工夫している。	運営推進会議メンバーの出席率は良い。家族の出席も一年交替を目的に依頼している。日頃からメンバーとのコミュニケーションが図られているため、会議では事業所からの報告のみに留まらず双方向的な意見交換の場となっている。ニュース記事などから話がふくらみ、ケアを見直すよい機会になることもある。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議委員として会議に毎回参加していただき情報を頂いたり、意見交換し、協力関係への取り組みについて話し合っている。	運営推進会議委員として会議に毎回参加していただき情報を頂いたり、意見交換し、協力関係への取り組みについて話し合っている。	異動があれば挨拶に出向き、普段の相談事でも顔を見て会って話すようにしている。ケア経験者が担当となる場合は特に話やすくもなる。最近では、緊急避難時の入居者の安全対策についてアドバイスを受けている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	新人研修及び現任研修を定期的に実施し身体拘束防止についての職員の意識を高めると共に、日常業務で気づきがあれば速やかに話し合い対応している。	新人研修及び現任研修を定期的に実施し身体拘束防止についての職員の意識を高めると共に、日常業務で気づきがあれば速やかに話し合い対応している。	勉強会を事業所内でも実施しており、職員の共有認識を図っている。過去の経験から玄関など数箇所にセンサーを設置しているが、それに頼ることなく、職員は目配りや連携で安全面にも配慮した支援を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期研修を実施すると共に痣や外傷等日常業務に観察の項目を入れ、予防や早期発見に備え、疑わしい時は通報義務を共有している。	定期研修を実施すると共に痣や外傷等日常業務に観察の項目を入れ、予防や早期発見に備え、疑わしい時は通報義務を共有している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に積極的に出席すると共に、地区の担当者と日常的に会い意見交換や相談に乗っていただいている。実際制度利用に繋がっている。	外部研修に積極的に出席すると共に、地区の担当者と日常的に会い意見交換や相談に乗っていただき、速やかに制度活用に繋がるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては出来る限り利用者本人、主介護者、身元引受人や本人と近い人等ホームへ足を運んでいただき、より多くの情報で納得していただくよう援助している。	契約に関しては出来る限り利用者本人、主介護者、身元引受人や本人と近い人等ホームへ足を運んでいただき、より多くの情報で納得していただくよう援助している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に意見箱を設置したり、本人との毎日の面接は元より、御家族の来訪時やご自宅の訪問、ケアマネジャー等に意見要望を聴き運営に反映できるよう努めている。	ホーム内に意見箱を設置したり、本人との毎日の面接は元より、御家族の来訪時やご自宅の訪問、ケアマネジャー等に意見要望を聴き運営に反映できるよう努めている。	何でも話してもらえよう日頃から家族とのコミュニケーションにも気を配り、電話よりもできれば顔を見ながらの対話を心掛けている。事業所以外にも意見や苦情を表せる機会や場があることを伝え、独自に第三者苦情相談員を置いていること等も説明している。事業所はあらゆる機会を捉え、意見や要望を引き出そうと努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は朝夕の申し送りや会議において職員とのコミュニケーションを図ると共に議事録を作成し代表者へ提出し、日常的に意見交換や文書での連絡を行い運営に反映させている。	管理者は朝夕の申し送り時や会議において職員とのコミュニケーションを図ると共に議事録を作成し代表者へ提出し、日常的に意見交換や文書での連絡を行い運営に反映させている。	月1回の職員会議は2ユニット合同で行い非番者も出席している。会議は自由に意見が言える環境である。また、入居者との関わりの中で生まれる職員の気付きやアイディアは、スタッフノートに記され共有し改善へとつながっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	目標管理制度を導入し、定期的な面接等で給与や労働時間、やりがい等職場環境、条件の整備に反映している。アドバイザーへの相談や助言を受けて職場環境の整備に努めている。	目標管理制度を導入し、定期的な面接等で給与や労働時間、やりがい等職場環境、条件の整備に反映している。アドバイザーへの相談や助言を受けて職場環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	2回/年の評価制度を設け個々人の能力を把握し、その能力に合った研修に助成金制度を設け推進すると共に、機会の確保に努めている。	2回/年の評価制度を設け個々人の能力を把握し、その能力に合った研修に助成金制度を設け推進すると共に、機会の確保に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社会福祉協議会、唐津市GH連絡会、介護支援専門員協議会等関係機関の複数の組織に入会し同業者との交流機会をつくりサービスの向上に取り組んでいる。	社会福祉協議会、唐津市GH連絡会、介護支援専門員協議会等関係機関の複数の組織に入会し同業者との交流機会をつくりサービスの向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前訪問や入居後1ヶ月間は特に全職員が傾聴と受容の姿勢でご家族との情報交換を行うなど早期の信頼関係づくりに努めている。	入居前訪問や入居後1ヶ月間は特に全職員が傾聴と受容の姿勢でご家族とも情報交換の協力を得、早期の信頼関係づくりに努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	電話や面接等で頻回に情報交換し安心して話せるように環境を整えたり、雰囲気作りに配慮し関係作りに努めている。	電話や面接等で頻回に情報交換し安心して話せるように環境を整えたり、雰囲気作りに配慮し関係作りに努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	できること、できないこと等センター方式を中心にアセスメントし必要な支援を見極め対応している。	できることできないこと等センター方式を中心にアセスメントし必要な支援を見極め対応している。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できることはしていただき、それぞれに役割を分担しているという意識付けと関係作りに配慮して関わっている。	できることはしていただき、それぞれに役割を分担しているという意識付けと関係作りに配慮して関わっている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居時より本人を支えるためにお互い何が出来るかをご家族と確認しながらケアプランを作成し関わっている。	入居時より本人を支えるためにお互い何が出来るかをご家族と確認しながらケアプランを作成し関わっている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの関係の継続を重要視し、入居前の生活を把握し、かかりつけ医やなじみの美容室等関わりを継続できるようケアプランに反映している。	なじみの関係の継続を重要視し、入居前の生活を把握し、かかりつけ医やなじみの美容室等関わりを継続できるようケアプランに反映している。	入居前の生活を把握するために本人の話に耳を傾け、また、家族との情報交換にも努めている。電話を掛けたり、最近では少なくなったが近くのポストまで一緒に手紙を出しに行ったりすることで馴染みの関係が維持できるように支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃の生活場面で利用者同士の関係に注意し、外出時のグループ分けや座席の配慮等支え合えるような関係作りを支援している。	日頃の生活場面で利用者同士の関係に注意し、外出時のグループ分けや座席の配慮等支え合えるような関係作りを支援している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も訪問等で経過を把握し、相談に応じたり可能な限りの支援をしている。	契約終了後も訪問等で経過を把握し、相談に応じたり、可能な限りの支援をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は入居者に寄り添い会話することを心がけ、普段の様子や言葉、表情から入居者の思いや、意向をくみ取るように努めている。個々人専用の連携ノートを作成し、情報共有し、ケアに活かしている。	職員は入居者に寄り添い会話することを心がけ、普段の様子や言葉、表情から入居者の思いや、意向をくみ取るように努めている。個々人専用の連携ノートを作成し、情報共有し、ケアに活かしている。	日々の関わりの中で、入居者ごとに違う意思表示もしっかりと汲み取れるように努めている。職員は、介護のためではなく生活を支えるためという意識で支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や本人より聴き取り、地域の行事やこれまでの暮らし方について担当ケアマネジャー等より情報を得て把握している。	家族や本人より聴き取り、地域の行事やこれまでの暮らし方について担当ケアマネジャー等より情報を得て把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	できること、わかること等生活場面で細かく状況を見つめ有する能力を把握するようにしており、それを記録し情報共有するように努めている。また、2回/日の健康チェックを行い、現状の把握に努めている。	できること、わかること等生活場面で細かく状況を見つめ有する能力を把握するようにしており、それを記録し情報共有するように努めている。また、2回/日の健康チェックを行い、現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	6か月の定期プラン見直しと日毎のケアプランを見直し、本人がよりよく暮らすための話し合いを行い、ケアプランを作成している。月末にユニットリーダーを中心にケア担当者がケアの振り返りを実施し、状態に合わせてより良いケアに繋がる様改善している。	6か月の定期プラン見直しと日毎のケアプランを見直し、本人がよりよく暮らすための話し合いを行い、ケアプランを作成している。月末にユニットリーダーを中心にケア担当者がケアの振り返りを実施し、状態に合わせてより良いケアに繋がる様改善している。	介護計画はアセスメントとモニタリングを繰り返しながら、設定期間毎の見直しはもとより、変化があれば臨機応変に対応している。家族とは日頃接する中で、思いも聞き取るようにしており、新たな要望がなくても新鮮な目で確認していくように努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活場面に合わせて個別記録を作成し、情報共有し、工夫点等実践に生かしている。	生活場面に合わせて個別記録を作成し、情報共有し、工夫点等実践に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	場面や状況に応じ、御家族と相談して柔軟に対応している。	場面や状況に応じ、御家族と相談して柔軟に対応している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元採用の職員や運営推進会議に参加して頂いている行政等フォーマル、インフォーマル等多方面より情報が得やすくなっており地区のゲートボールに参加する、安心サポートを利用する等生活に繋げている。	地元採用の職員や運営推進会議に参加して頂いている行政等フォーマル、インフォーマル等多方面より情報が得やすくなっており地区のゲートボールに参加する、安心サポートを利用する等生活に繋げている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の意向を大切に、入居前のかかりつけ医を確認すると共に状況により受診手段、付き添い等細かくご本人御家族と希望を確認して納得のいく医療が受けられるよう支援している。また、緊急時は近医と協力体制が取れており、速やかな連携に繋がり、適切な医療援助が実現できている。	ご本人やご家族の意向を大切に、入居前のかかりつけ医を確認すると共に状況により受診手段、付き添い等細かくご本人御家族と希望を確認して納得のいく医療が受けられるよう支援している。また、緊急時は近医と協力体制が取れており、速やかな連携に繋がり、適切な医療援助が実現できている。	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。往診も利用しながら、必要に応じて受診の付き添いや、家族とも同行しており普段の様子や変化を伝えるようにしている。なお、職員のみが付き添った場合の結果報告は当日中に行われている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤専従の看護職員の配置や協力医療機関の看護師は元より、24時間体制で協力医と日常的に相談や指導をうけ適切な医療を受けられるように協働している。	常勤専従の看護職員の配置や協力医療機関の看護師は元より、24時間体制で協力医と日常的に相談や指導をうけ適切な医療を受けられるように協働している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時職員が同席すると共に入院中の頻回の面会や主治医との面接時等御家族と一緒に同席し、関係作りに努めている。	入退院時職員が同席すると共に入院中の頻回の面会や主治医との面接時等御家族と一緒に同席し、関係作りに努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りの指針を文書で作成し、入居時より必要時支援できることを説明すると共に、状況に応じ御家族や主治医等と方針を確認し、スタッフとも共有し支援している。	看取りの指針を文書で作成し、入居時より必要時支援できることを説明すると共に、状況に応じ御家族や主治医等と方針を確認しスタッフとも共有し支援している。	これまでに看取りの経験がある。事業所の力量や体制を見極めつつ、その都度、話し合いを重ねながら、希望があればその用意もある。本人や家族の意向をふまえ、安心して納得した最期を迎えられるように意思を確認しながら取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変等に備え協力医療機関の医師等と情報を共有し定期的に訓練を実施する等実践に備えている。	急変等に備え協力医療機関の医師等と情報を共有し定期的に訓練を実施する等実践に備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成すると共に避難方法等定期的に話し合い、2回/年以上定期的に訓練を行い、地域の消防団等と協力体制の構築に努めている。災害時の食料と水の備蓄は1週間分とマニュアル化して備えている。	マニュアルを作成すると共に避難方法等定期的に話し合い、2回/年以上定期的に訓練を行い、地域の消防団等と協力体制の構築に努めている。災害時の食料と水の備蓄は2週間分とマニュアル化して備えている。	消防署の協力を得ながら入居者と共に避難訓練を行っている。全ての職員は消火器の使い方を熟知しており、すぐに駆け付けられる範囲に居住する職員も数名いる。水や食料の備蓄もあり、一次避難場所については家族にも周知している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様を人生の先輩として尊敬し接遇マナー研修を定期的に行い、言葉使いや態度に配慮できる人材育成に努め、さりげないケアが身に付くよう努めている。	入居者様を人生の先輩として尊敬し接遇マナー研修を定期的に行い、言葉使いや態度に配慮できる人材育成に努め、さりげないケアが身に付くよう努めている。	援助が必要な時は、まず本人の気持ちを大切に考え、さりげないケアを心掛けている。ホーム便りへの写真掲載についても本人や家族に承諾を得ている。入居者の尊厳と権利を守るこの意識は高い。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉かけや表情等本人の意思表示のサインを共有し普段より関係作りに努め、本人の思いや希望が引き出せるように働きかけている。	言葉かけや表情等本人の意思表示のサインを共有し普段より関係作りに努め、本人の思いや希望が引き出せるように働きかけている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の表情や状態で本人と相談して一日の過ごし方を決めている。	朝の表情や状態で本人と相談して一日の過ごし方を決めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望を確認して必要時御家族や美容室等と連携して支援している。	本人の希望を確認して必要時御家族や美容室等と連携して支援している。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居時に好き嫌いを把握すると共に季節感を大切にし、行事食や誕生会、おやつバイキング等食事が楽しみにして下さるよう栄養士と毎月会議を行い、配慮している。尚誕生日にはご本人の希望を取り入れた献立にしている。尚、準備や片付けはそれぞれの能力に応じて一緒に参加していただいている。	入居時に好き嫌いを把握すると共に季節感を大切にし、行事食や誕生会、おやつバイキング等食事が楽しみにして下さるよう栄養士と毎月会議を行い、配慮している。尚誕生日にはご本人の希望を取り入れた献立にしている。尚、準備や片付けはそれぞれの能力に応じて一緒に参加していただいている。	食事は一期一会という思いで栄養士が季節の物を取り入れたメニューを考えているが、他に食べたい物のリクエストがあれば2、3日中には提供される。職員は入居者と一緒にテーブルを囲み、同じ物や持参した弁当を食べながら、食事が楽しいものになるような支援をしている。入居者は年を重ねる毎に準備や片付けも難しくなるが、出来ることで参加できるよう支援している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士が専従で作成しており、毎月の改善会議により好き嫌いにあわせて代用を考えたり、個人の食べられる量栄養のバランス等確認し細かく記録し定期的に主治医報告相談等して支援している。	献立は栄養士が専従で作成しており、毎月の改善会議により好き嫌いにあわせて代用を考えたり、個人の食べられる量栄養のバランス等確認し細かく記録し定期的に主治医報告相談等して支援している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後その方の能力に応じて支援している。	毎食後その方の能力に応じて支援している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	専用の記録用紙を作成し、個別に記録し、排泄パターンを把握して支援している。オムツ使用の方も屋間はトイレ誘導し、オムツ外しを排泄援助の基本としている。また、コスト意識を持って援助している。	専用の記録用紙を作成し、個別に記録し、排泄パターンを把握して支援している。オムツ使用の方も屋間はトイレ誘導し、オムツ外しを排泄援助の基本としている。また、コスト意識を持って援助している。	自尊心に配慮しながら、入居者の様子で敏感に察知している。オムツやパット使用が改善した入居者もあり、トイレでの排泄を大切にしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の悪影響を認識し運動を進めたり、腹部のマッサージや、繊維の多い野菜やきのこを献立に入れる等便秘の予防に取り組んでいる。	便秘の悪影響を認識し運動を進めたり、腹部のマッサージや、繊維の多い野菜やきのこを献立に入れる等便秘の予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日いつでも入浴可能であり、一人ひとりの希望や状態のタイミングに合わせて調整し支援している。また、季節のゆず湯や桃湯、もみじ湯等楽しんでいただけるよう工夫し、支援している。	毎日いつでも入浴可能であり、一人ひとりの希望や状態のタイミングに合わせて調整し支援している。また、季節のゆず湯や桃湯、もみじ湯等楽しんでいただけるよう工夫し、支援している。	浴室の窓から小庭が見え露天気分が味わえる風呂は、毎日いつでも入浴できる。脱衣場は温度管理され冬場も暖かい。衣服の脱ぎ着は出来るだけ本人に任せ、職員は見守っている。また、入浴を拒む方には言葉かけやタイミングをずらしてみるなど工夫して対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の生活習慣や生活時間で状況に応じて休息や気持ちの良い睡眠がとれるよう援助している。	お一人お一人の生活習慣や生活時間で状況に応じて休息や気持ちの良い睡眠がとれるよう援助している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に服用中の薬の内容をファイルしており、職員は薬の薬効等内容を確認し、症状の変化等主治医と連携し適切な服薬に繋がるように支援している。	個別に服用中の薬の内容をファイルしており、職員は薬の薬効等内容を確認し、症状の変化等主治医と連携し適切な服薬に繋がるように支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に生活歴を把握し日々の会話を通して嗜好品や楽しみごとを引き出し、張り合いや喜びのある生活に繋がるよう支援している。	入居時に生活歴を把握し日々の会話を通して嗜好品や楽しみごとを引き出し、張り合いや喜びのある生活に繋がるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	環境に恵まれており、散歩や薬局までの薬取り、日用品の買い物等出来るだけ屋外や敷地外への外出や季節のドライブを楽しんだり、外泊を家族の協力とともに日常的に支援している。	環境に恵まれており、散歩や薬局までの薬取り、日用品の買い物等出来るだけ屋外や敷地外への外出や季節のドライブを楽しんだり、外泊を家族の協力とともに支援している。	外へ出掛けることは当たり前のこととして、歩行が困難な入居者では車椅子等を利用し積極的に支援している。職員は、外出を気分転換や五感の刺激にもよい機会になると意識し活用している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(東) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(西) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理はその方の能力に応じて御家族と協働して支援している。支払いの時なども能力に応じて支援している。	お金の管理はその方の能力に応じて御家族と協働して支援している。支払いの時なども能力に応じて支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は事務所の電話を無料で常時使用可能になっているほか、個人の能力や希望に沿うよう支援している。手紙はホームより歩いて数分のところにポストがあり、いつでも投函できる環境にあり支援している。	電話は事務所の電話を無料で常時使用可能になっているほか、個人の能力や希望に沿うよう支援している。手紙はホームより歩いて数分のところにポストがあり、いつでも投函できる環境にあり支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音や光等表情等に注意しながら配慮している。棟内には季節の花を欠かさないようにしている。建物の周囲を植木で囲む等四季を感じられるように配慮している。	音や光等表情等に注意しながら配慮している。棟内には季節の花を欠かさないようにしている。建物の周囲を植木で囲む等四季を感じられるように配慮している。	入居者が多くの時間を過ごすリビングは日当たりもよく、名護屋城跡も眺められる。直射日光はスクリーンカーテンで調節され、廊下には全て手摺りが取り付けられている。トイレや浴室などもきれいに掃除され臭気はない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事のときは自然にそれぞれに席が固定しているほか、廊下やウッドデッキ、玄関等腰掛けを置き、休憩したり、和室の畳で横になったり、それぞれに利用していただけるように工夫している。	食事のときは自然にそれぞれに席が固定しているほか、廊下やウッドデッキ、玄関等腰掛けを置き、休憩したり、和室の畳で横になったり、それぞれに利用していただけるように工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の家具等のご自宅で使い慣れたものを勧め特に制限せず、ベッドではなく布団を使用される等本人や家族主体で決めていただいている。	居室の家具等のご自宅で使い慣れたものを勧め特に制限せず、ベッドではなく布団を使用される等本人や家族主体で決めていただいている。	居室に持ち込む品物に原則制限はない。仏壇を持った方もあり、馴染みの物を活かして、その方らしく暮らせるよう支援している。居室の掃除も出来る方は本人に任せ、職員は補助のみで見守っている。希望があれば家族の宿泊も可能である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの手すり、流しやすい水洗レバー、洗面台の高さや自動センサー付き蛇口、廊下の手すりやエアタオル、平屋で非常時屋外に避難しやすい設計等、安全と自立に配慮している。	トイレの手すり、流しやすい水洗レバー、洗面台の高さや自動センサー付き蛇口、廊下の手すりやエアタオル、平屋で非常時屋外に避難しやすい設計等、安全と自立に配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない